

教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

短期大学部	生活科学科 生活科学専攻	<ol style="list-style-type: none"> 1. 洋菓子・和菓子制作の基礎・応用をプロのパティシエ外部講師に学ぶ。 2. ブライダル関連科目は地元のトップ企業の全面応援により業界第一線の知識・技術に触れる。またファッション関連科目ではアパレル企業で活躍する為に必要となる知識、ファッションビジネス、ファッションカラー、コーディネートテクニック、ヘアメイク、アパレルデザイン、など幅広く学ぶ。 3. デザイン・アートワークは、2年間の成果を卒業制作展で発表する。
	生活科学科 食物専攻	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食品や栄養学的な知識を基にした調理実習を行い、調理技術を身につける。 2. ライフステージおよび病弱者、疾病に対応した献立作成、調理ができるように栄養学各論、臨床栄養学で理論および実習をとおして知識を習得し、実践力を身につける。 3. 保育所・幼稚園・学校などで食育が行えるような栄養指導能力を身につける。 4. 学生の力が十分に発揮できるようカウンセリングを行い、個々の能力アップに努める。
	保育科	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の専門分野に関する知識・技能・態度を講義・演習・実技・実習をとおして、体系的に修得することができる。 2. 授業、学外実習、担任指導、行事等をとおして、自主性と対話を重視した教育を実践する。 3. 新しい保育理論と技術、困難なことに取り組んでいく精神力を備えた保育士および幼稚園教諭を養成する。
	言語コミュニケーション学科	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンテーション実務士取得関連科目を原則として、全ての学生に受講させる。 2. プレゼン関連科目はもとより、英語・国語関連科目、キャリア関連科目も含め、全てにおいて、相手に情報を伝えるプレゼンテーション能力の育成を念頭に置く。 3. 英語全般に、昔ながらの英文科の文学鑑賞のようなスタイルでなく、同時通訳訓練法などを駆使した、実践英語力を養うアクティブなスタイルを採用入れる。 4. 社会人基礎力とは何かのかを理解し、それをもとにキャリア教育を経験することで、将来の就職に備える。
	音楽科	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人個人に応じてデザインされるLESSONプログラムにより、個性や創造力を培う。 2. 社会で働くことを想定し、音楽療法実習の中で音楽療法の計画、実践、評価を行う。 3. 演奏や音楽療法等に関して、提携校であるウィーン国立音楽大学やシェナンドー大学の教授陣に学ぶ。
	商科	<ol style="list-style-type: none"> 1. 簿記検定、PC検定、医療秘書技能検定、秘書技能検定、販売士検定など、実践的能力を身につけた証としての資格取得を目標とする。 2. ビジネス実務コース、医療事務コースの2コースあるが、履修科目が特定領域に偏ることなく幅広い知識を身につけるとともに、学問的な理論だけでなく、経済社会の実態的側面に重点を置いた指導を行う。